

陳 情 文 書 表

受 理 番 号	第 11 号
受 理 年 月 日	令和4年8月17日
件 名	電力不足への国家的対応を求める意見書の提出を求める陳情
陳情者の住所 及 び 氏 名	桐生市相生町5丁目385番地の1レオパレス101 寺口まさのぶ
陳 情 の 要 旨	<p>国民生活と産業経済に必要な電力の不足が懸念されている。解決の一端を国に要求いたす。</p> <ol style="list-style-type: none">1、安全確認の取れた原発は再稼働すべし2、CO2排出削減の改修工事の終了した火力発電所は稼働すべし3、世界各国において電力基準は統一されている中で、日本では西日本がアメリカ流の60Hz（ヘルツ）、東日本がドイツ流50Hzの2系統があり、電力融通がままならない状況である。この弊風を改め、国内電力基準の統一を図るべきである。4、ノーネクタイ、ノージャケットのクールビズがテレビ画面から減っている。節電不要のメッセージとなっている。官民挙げて再度、初心に戻すべきだ。 <p>以上4項目を意見書として国に提出してください。</p>
付 託 委 員 会	総務委員会
審 査 結 果	